

## 北大病院心エコー室で検査を受けた患者さんへ（臨床研究に関する情報）

北海道大学大学院保健科学研究所心血管エコー研究室では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、北大病院において、通常の診療で得られた過去の診療記録や検査結果を分析することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号・平成 29 年 2 月 28 日改正）の規定により、研究内容の情報を公開し患者さんが拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。この研究に関して、研究の対象となることを望まれない場合やご不明の点がございましたら、下記「連絡先」へご連絡ください。

### [研究課題名]

スペックルトラッキング法を用いた肥大型心筋症の左房心筋メカニクスの解析

[研究機関・長の氏名] 北海道大学病院長 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 岩野弘幸（医学研究院循環病態内科学分野・助教）

### [研究の目的]

近年、心臓超音波（心エコー）検査に三次元スペックルトラッキング法（3DSTE）が導入され、左室や左房の壁の伸縮の程度（ストレイン、St）やその速度（ストレインレート、SR）を、三次元的に評価することが可能となりました。これまでに、肥大型心筋症（HCM）では、左房の長軸方向 St が低下していることは知られていますが、円周方向についてはよくわかっていませんでした。また、同じく左室肥大や左室拡張機能障害をきたす高血圧性心疾患（HHD）との差異についても明らかではありませんでした。そこで、本研究では、3DSTE を用いて HCM 患者さんの左房心筋機能を HHD や正常心との比較に基づき詳細に検討したいと思っております。

### [研究の方法]

#### ●対象となる患者さん

2009年4月1日から2018年3月31日までに北大病院心エコー室で検査を行い、3DSTEを含む心エコー検査が行われた HCM 患者さん（目標 50 例）、同時期に心エコー室で検査が行われた HHD 患者さん（目標 50 例）および心疾患や心臓に影響する全身疾患がなく、心エコー検査上も異常を認めなかった方（目標 50 例）。

#### ●利用するカルテ情報

1. 診療記録から、年齢、性別、身長、体重、診断名、病歴、家族歴、身体所見、血液生化学的検査を含む各種検査所見、臨床経過および治療内容を調べます。

- 心エコー検査記録から、左室内径、左室駆出分画、左室壁厚、左室心筋重量、左室拡張機能、左房径、左房容積係数、ならびに 3DSTE による左室と左房の心筋 St および SR を調べます。

[研究実施期間] 実施許可日～2021年3月31日

[個人情報の取り扱い]

本研究の実施にあたり、研究に利用する患者さんの情報に関しては、研究担当者が北海道大学病院内で診療記録や心エコー検査記録を収集した後、お名前、ご住所をはじめ、患者さんを特定できる情報を一切削除して管理した上で、研究を進めます。また、研究成果を学会や学術雑誌などに発表する予定ですが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[連絡先]

札幌市北区北 12 条西 5 丁目

北海道大学大学院 保健科学研究院 准教授 加賀 早苗 (研究分担者)

電話 : 011-706-3405, FAX : 011-706-3730